



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

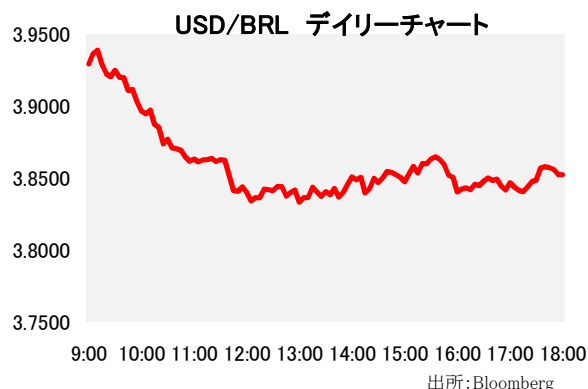
1. マーケット・レート

			9月30日	10月1日	10月2日	10月5日	10月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9470	4.0090	3.9330	3.9110	3.8520	-0.0590
	BRL/JPY	Spot	30.37	29.91	30.49	30.80	31.20	+0.40
	EUR/USD	Spot	1.1175	1.1192	1.1214	1.1189	1.1274	+0.0085
	USD/JPY	Spot	119.88	119.92	119.90	120.43	120.22	-0.21
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	15.051	15.211	14.964	14.980	14.830	-0.150
	Future	1Year(p.a.)	15.540	15.702	15.362	15.379	15.241	-0.138
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	3.773	3.511	3.156	3.007	2.976	-0.031
		1Year(p.a.)	5.439	4.835	4.181	4.015	4.136	+0.121
株式	Bovespa指数		45,059	45,313	47,033	47,598	47,735	137
CDS	CDS Brazil 5y		475.82	463.40	436.17	410.64	409.34	-1.31
商品	CRB指数		193.765	192.510	194.106	196.382	200.134	+3.75

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

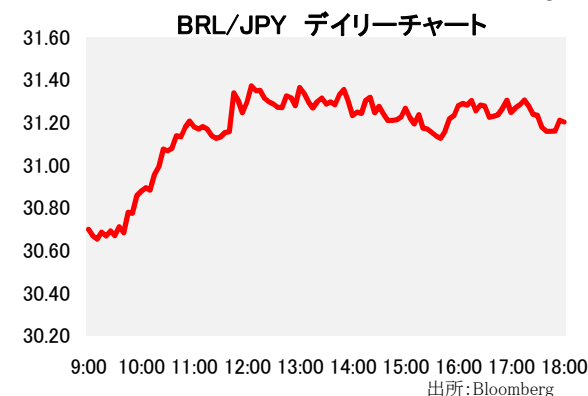
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
自動車生産台数(伯自動車工業会)	--	174240	216565
自動車販売台数(伯自動車工業会)	--	200077	207250
自動車輸出(伯自動車工業会)	--	33502	34600
(米)貿易収支	-\$48.00b	-\$48.33b	-\$41.81b
(米)IBD/TIPP景気楽観指数	44.5	47.3	42.0



3. 要人コメント

IMF	IMFは2015年はエコノミストが予想するよりも大きな景気後退を見込んでいる。ブラジル経済について以前は1.5%のマイナス成長を見込んでいたが、3%のマイナス成長を予想する。
-----	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.9150で寄り付いた。早朝にムーディーズがブラジルの経済見通しを引き下げたことを受けてレアルは寄り付きから売られて本日の安値となる3.9410をつけた。しかし、しばらくすると格付け機関から、ブラジルの状態はもう1ノッチ下の格付けを保有する国と比較して強いことや、レヴィ財務相がやめても格付け見直しをしないことなど、ポジティブな見解が発表されたことを受けてレアルは反発した。FRBの利上げ観測が後退する中、ドルが引き続き軟調に推移する中、中銀公表レート発表にかけて大口のレアル買いが見られ、レアルは3週間ぶりの高値となる3.8290まで上昇した。その後は3.84から3.86を中心とした揉み合いに転じ、結局3.8520でクローズした。
- 連邦会計監査院(TCU)は予定通り明日2014年度の財務会計監査に関して最終審議を行う予定。不正会計が認められた場合は与党からジルマ大統領弾劾の圧力が強まると見られる。本日は最大与党PMDBのピツシア二党首は拒否権発動の定数を確保するのが難しくなったとコメントした。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。